

■柴田南雄 作曲家、音楽評論家。植物学と美術学んで科学映画で作曲し、現代音楽に転じて幅広い業績を遺した。

しばたみなお

民本主義・・・1916＝ 東京神田駿河台の病院で、生まれる。

原敬首相暗殺1921＝ 5歳：東京女子師範学校付属幼稚園に入園。

関東大震災・1923＝ 7歳：暁星小学校に入学。岩井貞麿にピアノを学ぶ。逗子で震災に遭遇。

治安維持法・1925＝ 9歳：

世界恐慌・・・1929＝13歳：暁星中学校に入学。

満州事変・・・1931＝15歳：
五一五事件・1932＝16歳：成城高等学校尋常科に転校。_ジェームズ・ダンにピアノを学び始める。
国際連盟脱退1933＝17歳：成城高等学校理科甲類に進む。_鈴木二三雄にチェロを学び始める。新交響楽団定期演奏会会員になる。
帝人疑獄事件1934＝18歳：_校内の文芸誌に「今秋の洋楽壇」寄稿。レコード雑誌に「コルトー礼賛」を投稿し、掲載される。

二二六事件・1936＝20歳：東京帝国大学理学部植物学科に入学。_成城高校OBの合唱団員になり、以後在学中は、演奏会に参加。
日中戦争始・1937＝21歳：_東大オーケストラのチェロメンバーとなり、敗戦近くまで続ける。細川碧に和声法・対位法を学び、上智大の講習会でグレゴリオ聖歌も学ぶ。

第二次大戦始1939＝23歳：卒業し、大学院に進む。_鈴木鎮一指揮の東京弦楽団のチェロ奏者となり、数年続ける。諸井三郎に師事。
大政翼賛会・1940＝24歳：中退し、東京科学博物館植物学部嘱託を経て、
日米開戦・・・1941＝25歳：東京帝国大学文学部美学美術史料に再入学。_歌曲の作曲を始め、

創価学会検査1943＝27歳：卒業して、_理研科学映画に入社。記録映画・軍関係教育映画の音楽を多数作曲、室内楽の作曲も始める。
年金+総武装 1944＝28歳：日本音楽協会事務局に勤務する一方、_斎藤秀雄に指揮法を学ぶ。

敗戦・・・1945＝29歳：
新憲法公布・1946＝30歳：_入野義朗らと{新声会}を結成し、第1回試演会。東京音楽書院嘱託となり、多数の合唱曲を編曲。
新憲法施行・1947＝31歳：*NHKの{名曲鑑賞の時間}に解説者として初出演。文部省図書編集委員として教科書用のメヌエット作曲。
極東裁判決・1948＝32歳：_斎藤秀雄らの{子供のための音楽教室}に参加。歌曲集「優しき歌」などの抒情的作曲を発表。
三大事件・・・1949＝33歳：_新声会同人として第1回毎日音楽賞。

この間、次々作曲する一方、勉強会も開催して研鑽に努め、
独立回復・・・1951＝35歳：フェリス女学院音楽科講師。_NHK番組{音楽入門}の現代音楽を担当。
メデー事件・1952＝36歳：新設の桐朋女子高校音楽科学科主任。お茶の水女子大講師。_毎日音楽コンクール作曲部門審査委員。
TV放送始・・・1953＝37歳：この年まで東京音楽書院嘱託続ける。

55年体制始・1955＝39歳：お茶の水女子大学助教授。音楽学*「現代音楽」以降、現代音楽の紹介、音楽史などの評論でもすぐれた業績を残して行く。

なべ底不況・1957＝41歳：_黛敏郎らと{二十世紀音楽研究所}を結成。
イスタントマン・1958＝42歳：音楽学「現代の作曲家」、
美智子妃・・・1959＝43歳：合唱曲「優しき歌 第二」。東京芸術大学音楽部楽理科助教授に就任。
安保闘争・・・1960＝44歳：この頃から、12音技法による「シンフォニア」以降のフォニアシリーズなどの前衛音楽に向う。
タイタイ病始・1961＝45歳：_西ドイツの新聞情報庁の招きで渡欧。

この間も、NHKの音楽関係の多くの番組に関わり、音楽雑誌等にも執筆を続け、
大学紛争始・1965＝49歳：音楽学「現代音楽の歩み」、
いざなぎ景気1966＝50歳：内閣の「二十一世紀の日本」音楽審査委員。教授となり、
美濃部都知事1967＝51歳：音楽学「西洋音楽史 第4」「西洋音楽の歴史(上・中・下)」、

全共闘・・・1969＝53歳：退官。
大阪万博・・・1970＝54歳：合唱曲「道」。_万博の政府館の電子音楽を担当。ユネスコ主催のストックホルムでの作曲家会議で講演。

日中国交回復1972＝56歳：_毎日音楽コンクール審査委員を辞め、高橋悠治、武満徹らと{トランソニック}を結成。
石油ショック1973＝57歳：合唱曲「追分節考」。_「コンサート・オヴ・オーケストラ」で、
角栄金脈辞任1974＝58歳：*尾高賞。
クアラルンプール事件1975＝59歳：交響曲「ゆく河の流れは絶えずして」、合唱曲「萬歳流し」「北越戯譜」、
田中角栄逮捕1976＝60歳：著書「レコードつれづれぐさ」。合唱曲「念仏踊」。柴田南雄展が開かれ、{音楽芸術}で特集が組まれる。
JALハイジャック・1977＝61歳：「オルガンのための律」、
成田衝突・・・1978＝62歳：音楽学「音楽の骸骨のはなし」「音楽の理解」。_芸術祭賞優秀賞。以後、諸音楽コンクール審査員を務める。
革新大敗北・1979＝63歳：著書「西洋音楽散歩」「私のレコード談話室」。合唱曲「宇宙について」。_「ディアフォニア」。

・・・1981＝65歳：著書「わたしの名曲・レコード探訪」、
中曽根内閣・1982＝66歳：_サントリー音楽賞、紫綬褒章。
デイズ・ユースト・1983＝67歳：音楽学「日本の音を聴く」「楽器への招待」。著書「聴く歓び」。合唱曲「歌垣」、
・・・1984＝68歳：音楽学「音楽史と音楽理論」「グスタフ・マーラー」。放送大学教授に就任。_「メタフォニア」、
ジャンボ機墜落1985＝69歳：合唱曲「人間について」(全三部作)の「人間と死」、
バブル始・・・1986＝70歳：著書「王様の耳」「おしゃべり交響曲」、
竹下内閣・・・1987＝71歳：音楽学「唄には歌詞がある」。合唱曲「自然について」、
リクルト事件・1988＝72歳：著書「おしゃべり音楽会」。勲四等旭日小綬章。
昭和天皇没・1989＝73歳：「アンティフォニア」。京都音楽賞。
トイ統一・・・1990＝74歳：音楽学「声のイメージ」。放送大学を退任。
ソ連崩壊・・・1991＝75歳：合唱曲「遠野遠音」、
バブル崩壊・・・1992＝76歳：_永年の作曲と音楽評論活動により文化功労者、有馬賞。
55年体制終・1993＝77歳：
自社さ連立・1994＝78歳：著書「音楽にしひがし」。藤村記念歷程賞、
わかし事件・1995＝79歳：著書「わが音楽わが人生」、
・・・1996＝80歳：著書「クラシック名曲案内」。*合唱曲「人間について」(全三部作)を完成して、没した。